

ご挨拶



平素より新正会並びに7名の所属議員の活動に対して、ご理解を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、令和4年度の予算を審議する令和4年第1回定例会が2月24日から3月28日まで開催され、代表質問、総括質疑、3つの分科会において、コロナ禍

の現在、市民の生活を支える予算であるかを費用対効果の視点から質疑致しました。今後はそれぞれの政策が確実に実行されていくかを精査して参ります。

令和4年度も、ウイズコロナ・アフターコロナの中で、市民の生活を支えるために何をすべきかを会派内で議論を深め、活動して参ります。

今後とも新正会に対してご支援賜ります事をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

新正会一同

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

3月8日【本会議】 ロシアが2月24日にウクライナへの侵略を開始したことから、私たち議員の総意として、抗議の意思を表すため、議員提出議案「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」を稲城市議会で議決しました。

北浜けんいち 会派代表が、議員提出第1号議案の提案理由説明を行い、その後、全会一致で可決。この決議は、市議会ホームページに公開されています。

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議

去る2月24日、ロシアは、ウクライナへの侵略を開始した。このようなロシアの行動は、明らかにウクライナの主権及び領土を侵略する許しがたい行為であり、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であるとともに、国連憲章を冒とくする重大な行為である。

平和の精神をもとに、非核三原則を遵守し、世界の人々と手を携えて、人類永遠の平和を築く「平和都市宣言」を行っている稲城市においては、決して見過ごすことができるものではない。

そのため、ここに稲城市議会は、ウクライナ国民の強い愛国心と寄り添い、ウクライナ国民と共にあることを表明し、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して、厳重に抗議する。

以上、決議する。

令和4年3月8日

稲 城 市 議 会



北浜けんいち議員

「ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議」提案理由説明 (3月8日)

稲城市議会録画映像QRコード

3月8日 本会議
北浜議員 議員提出議案 提案理由説明
11:16から



稲城市の新型コロナウイルスワクチンの配送業務を視察

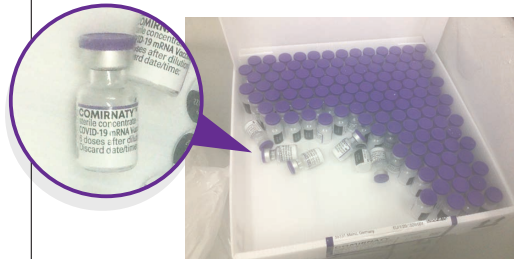
1月14日、稲城市の新型コロナウイルス ワクチンの配送業務を視察。

市民の皆様の感染予防を担う大事なワクチン。超低温（マイナス75度以下）で厳重に管理されているワクチンが素早く取り出され、各医療機関へ正確・丁寧に発送される様子を確認しました。

私ども新正会は、コロナ禍において市民生活を支えるために、市議会として・議員として何をすべきかを常に考え、会派で議論を深め行動しています。お子様から、ご高齢者まで全世代の皆様が安心して接種いただけるよう、ワクチン事業の円滑実施と促進に引き続き取り組みます。



ワクチンを保管する「超低温冷凍庫（ディープフリーザー）」を囲んで（1月14日）
左から 梶浦、坂田、中山、池田、北浜、川村、角田（新正会7人）



超低温冷凍庫（ディープフリーザー）内に保管されているワクチン。



低温やけど防止の手袋を装着し、バイアルホルダーに丁寧にワクチンを収納。



保冷クーラーボックスに梱包されるワクチン。接種を行っている医療機関へ配送。

各医療機関へ

新正会ホームページを開設しました！2月1日開設

会派公式ホームページを公開しました。URL: <https://inagi-shinseikai.com>

新正会の活動報告、これまでに発行した「新正会だより」、所属議員の紹介などを掲載しております。

「稲城市政を支える責任ある7人」。新正会の議会活動をぜひご覧ください。



令和4年第1回定例会 代表質問

【新政会】代表質問 全58項目

3月2日【本会議】 令和4年度 稲城市長 施政方針に対する代表質問を各会派が行いました。

北浜けんいち議員が新政会を代表し、58項目の質問を行いました。

「現在、多くの市民が新型コロナウイルス感染症に罹患し、また濃厚接触者となっている状況が続いている。市民の生命、生活を守って行くと共に、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた中で行政課題に取り

組むことなどの視点から代表質問を行う」と冒頭に陳べ質問に入りました。



北浜けんいち議員

本会議 代表質問(3月2日)

稲城市議会録画映像QRコード

3月2日 本会議
北浜議員 代表質問01:03から



QRコードのご案内

白黒の四角いマークをスマートフォン等のカメラで読み取ると、インターネットのホームページ情報をご覧いただけます。ぜひ、新政会の議会活動をご視聴ください。



- 1 国際情勢の市民生活への影響について
- 2 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について
- 3 国及び東京都の予算編成について
- 4 令和4年度の予算編成について
- 5 新型コロナウイルス感染症関連の予算について

第1章 子育て・教育・文化 育ち・学び

- 6 保育ニーズへの取り組みについて
- 7 放課後の児童の健全育成事業への取り組みについて
- 8 向陽台小学校学童クラブ民営化について
- 9 緊急対策としての学童クラブの受け入れ定員拡大について
- 10 南山小学校の学童クラブについて
- 11 第三児童館の民営化と第三文化センター内に学童クラブを新設する事について
- 12 育ち育てる相談・支援体制としての産後ケア事業について
- 13 子育て世帯臨時特別給付金の国事業の対象外になる児童への給付について
- 14 コミュニティスクールについて
- 15 教育の質の向上について
- 16 学校給食共同調理場第一調理場建替移転事業の二期工事について
- 17 学校施設・設備の整備について
- 18 市内小学校の普通教室の不足とその対応について
- 19 生涯学習の推進について
- 20 生涯学習の活動サポートについて

第2章 保健・医療・福祉

- 21 健康づくりの推進について
- 22 地域福祉の更なる展開について
- 23 高齢者福祉の充実について
- 24 稲城市高齢者福祉計画・稲城市介護保険事業計画(第9期)の策定について
- 25 障害者(児)福祉の充実について
- 26 生活困窮者への生活の安定と自立への支援について

第3章 環境・経済・観光

- 27 循環型社会づくりへの取り組みについて
- 28 長期的視点での一般廃棄物処理について
- 29 自然環境の保全と緑の創出について

- 30 緑を守る施策について
- 31 コロナ禍における公園環境の整備について
- 32 インクルーシブパークについて
- 33 持続可能な都市農業の振興について
- 34 ハード面で持続可能な都市農業を支える事業について
- 35 商工業の活性化について
- 36 コロナ禍における市内事業者の支援について
- 37 スポーツ・レクリエーション活動の振興について
- 38 自転車のまち稲城による観光の振興について

第4章 都市基盤整備・消防・防犯・安全

- 39 計画的で適切な土地利用の推進について
- 40 土地区画整理事業による矢野口のまちづくりについて
- 41 土地区画整理事業による稲城長沼駅周辺地区のまちづくりについて
- 42 土地区画整理事業による南多摩駅周辺地区のまちづくりについて
- 43 土地区画整理事業による南山東部地区のまちづくりについて
- 44 防災性の向上と景観の保全について
- 45 市街地の再生について
- 46 平尾団地の再生について
- 47 道路網の整備促進について
- 48 生活に関わりの深い道路整備について
- 49 適切な道路の維持管理について
- 50 交通環境の向上について
- 51 衛生環境の向上について
- 52 総合的な水害対策の推進について
- 53 消防体制の充実について
- 54 消防団員の処遇改善について

第5章 市民・行政

- 55 コミュニティの育成支援について
- 56 都市間交流・多文化交流の推進について
- 57 健全な行財政運営について
- 58 情報システムを活用した行政サービスの向上について

東京都三市収益事業組合(ボートレース江戸川)



ボートレース江戸川
(画像提供：東京都三市収益事業組合)

中山 賢二 議員は、東京都三市収益事業組合の議員を務めています。

東京都三市収益事業組合は、稲城市、多摩市、あきる野市が構成する一部事務組合で、ボートレース江戸川で公営競技の競艇事業を運営しています。ボートレース江戸川は、稲城市から都営地下鉄新宿線直通の京王相模原線にて約1時間半の距離。レーサーの緊張感を肌で感じられ、ボートレースの大迫力を楽しめる施設です。

2月7日、東京都三市収益事業組合議会 令和4年第1回定例会が開催され、令和4年度予算が審議されました。東京都三市収益事業組合の収益金は、稲城市一般会計の財源として2,000万円が歳入され、稲城市民の皆様へ行政サービスを通じて還元されています。また、

ボートレースの売上金が交付されている日本財団からは、稲城市社会福祉協議会をはじめ、市内福祉団体等へ福祉車両が寄付されています。

ボートレースからの収益金は稲城市の大事な財源であることから、私たち新政会は収益事業の振興に取り組んでいます。



中山賢二議員

東京都三市収益事業組合 議会に出席(2月7日)

稲城市国民健康保険運営協議会

梶浦みさこ 国民健康保険運営協議会 会長が、答申書「国民健康保険税のあり方について」を1月17日、市長に提出しました。

協議会では、市長からの諮問に対し協議を重ね「稲城市国民健康保険税の所得割額の算定に用いる税率及び被保険者均等割額の算定に用いる税額については、全て据え置く」との答申をまとめました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける社会・経済状況下にある被保険者の生活と、国保財政健全化計画の進捗状況を総合的に勘案し判断したものであり、「今後も同計画に基づき赤字削減・解消に向けた取り組みを堅持する」との考えから、税率を据え置くとの議論が協議会で行われました。



梶浦みさこ議員

国民健康保険運営協議会
答申書「国民健康保険税のあり方について」の市長提出(1月17日)

稲城市議会 新政会



北浜けんいち

KITAHAMA KENICHI



中山賢二

NAKAYAMA KENJI



梶浦みさこ

KAJIURA MISAKO



坂田たけふみ

SAKATA TAKEFUMI



池田英司

IKEDA EIJI



角田政信

KAKUTA MASANOBU



川村あや

KAWAMURA AYA